

令和7年度水道ビジョンの進捗報告

令和8年(2026年)7月28日
東大阪市上下水道局
水道総務部水道経営室



MONOZKURI CITY

HIGASHI-OSAKA

WHERE THE ANSWER IS





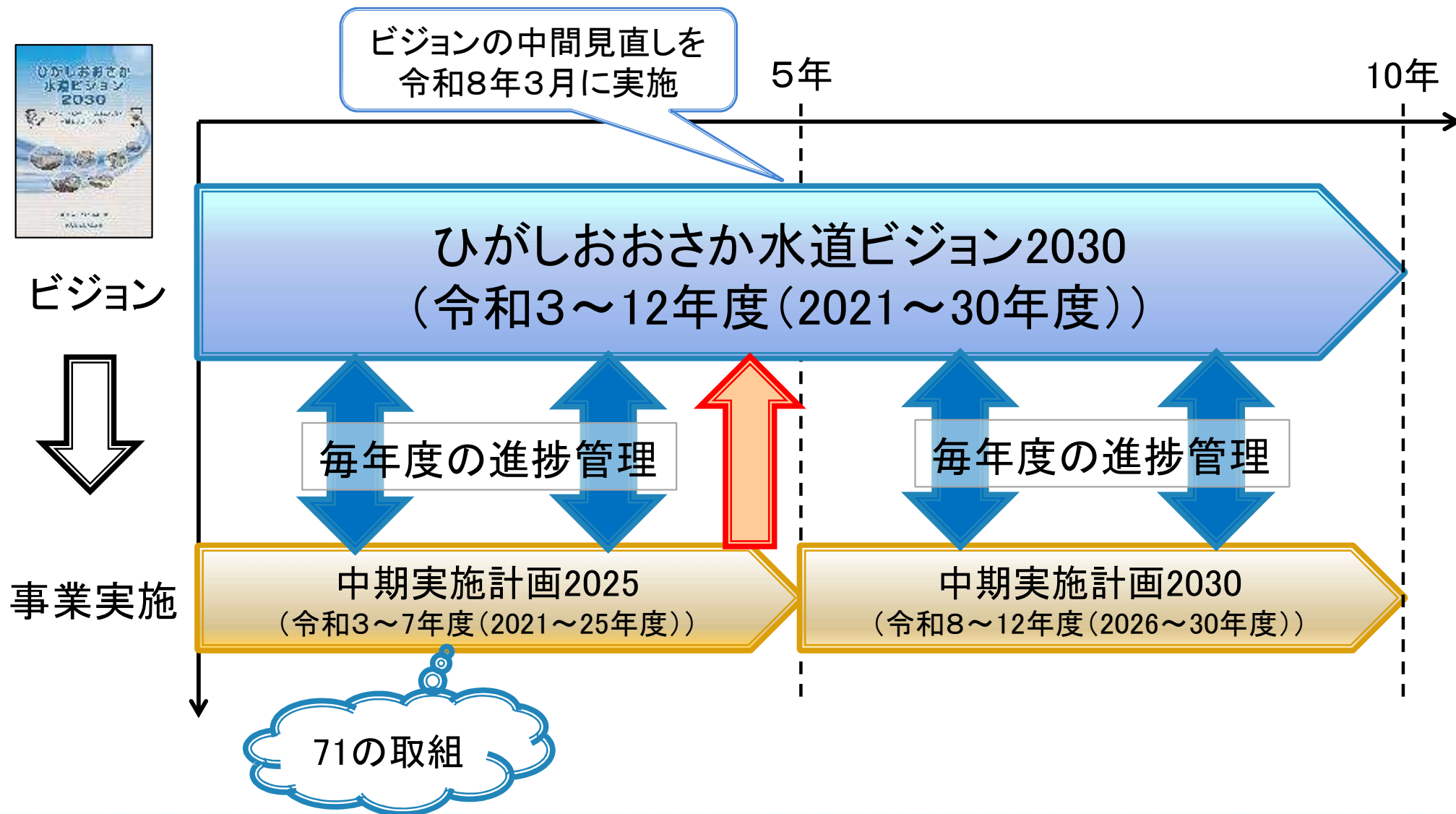
目次

1. ひがしおおさか水道ビジョンについて
2. 令和7年度の進捗管理の総括
3. 取組の進捗状況と課題への対応
4. 水道ビジョンに基づく財政状況のフォローアップ



1. ひがしおおさか水道ビジョンについて

ひがしおおさか水道ビジョンは、これからの東大阪の水道が目指す姿および目標を設定した、本市水道事業計画の最上位に位置付けられる計画になります。



1. ひがしおおさか水道ビジョンについて

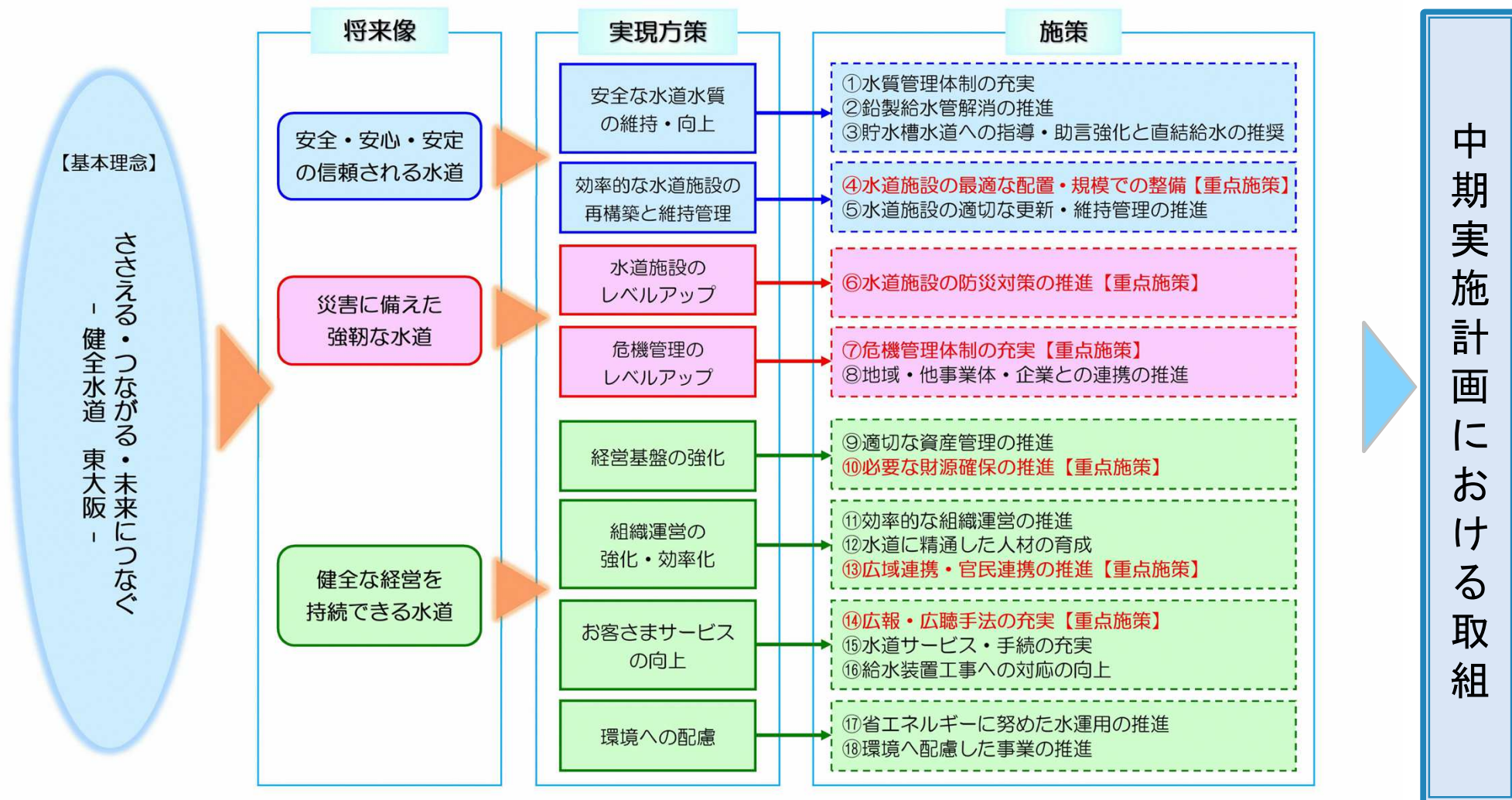
《 施策体系一覧 》

3つの将来像

8つの実現方策

18の施策

71の取組



2. 令和7年度の進捗管理の総括

(1) 令和7年度 of 取組項目の進捗状況

取組項目	◎	○	△	×
71項目	52項目 (73.3%)	16項目 (22.5%)	3項目 (4.2%)	0項目 (0%)

令和7年度は、取り組み項目のうち、95.8%について「◎」または「○」となり全体として概ね順調に進捗しました。

(参考) 令和6年度 ◎:41項目(57.8%) ○:28項目(39.4%) △:2項目(2.8%) ×:0項目(0%)

【凡 例】

目標	◎	○	△	×
数値目標あり	100%	80%以上 100%未満	80%未満	0%
数値目標なし	予定どおり 達成	概ね達成	一部達成している が遅れている	未実施



2. 令和7年度の進捗管理の総括

(2) 重点施策の主な取り組みについて

重点施策

平成30年12月に実施された水道法改正の趣旨、本市水道事業における重点的な施策推進の必要性、近年の水道事業環境の変化に対する優先度を勘案して、18の施策のうち6つの施策を「重点施策」として位置づけます。

NO.	重点施策内容
施策④	水道施設の最適な配置・規模での整備
施策⑥	水道施設の防災対策の推進
施策⑦	危機管理体制の充実
施策⑩	必要な財源確保の推進
施策⑬	広域連携・官民連携の推進
施策⑭	広報・広聴手法の充実



2. 令和7年度の進捗管理の総括

(2) 重点施策の主な取り組みについて

施策④ 水道施設の最適な配置・規模での整備

◆石切高区浄水場の配水池化に向けた整備 【取組No.14】

- ・当該浄水場は、規模が小さい一方で浄水場の更新・維持管理の費用負担が大きいため、浄水施設を廃止し、配水池として再整備を進めます。
- ・令和7年度は、関係機関との取水停止に向けた協議・調整を実施し、令和8年4月より配水池として運用を変更しました。
- ・浄水廃止に伴う施設整備(撤去・改良)について検討しました。

◆統廃合を含めた施設の最適配置及びダウンサイジング【取組No.15】

- ・将来的な水需要減少に対応した管路更新時の管口径の適正化(ダウンサイジング等)を引き続き進めました。
- ・(仮称)旭町受水中継ポンプ場の設計業務を完了し、建築・ポンプ設備・電気設備工事に着手しました。



2. 令和7年度の進捗管理の総括

(2) 重点施策の主な取り組みについて



▲配水用ポリエチレン管

施策⑥ 水道施設の防災対策の推進

◆管路の耐震化【取組No.24、25】

- ・重要な水道管である基幹管路の耐震化、そして配水支管は重要給水施設への供給ルート耐震化を優先に進めました。
- ・令和7年度の目標値を達成できました。

基幹管路耐震適合率 ➡60.4%(前年度比 3.3ポイント上昇)

重要給水施設配水管路耐震適合率 ➡46.0%(前年度比 5.4ポイント上昇)

管路(全体)耐震管率 ➡20.4%(前年度比 1.0ポイント上昇)



2. 令和7年度の進捗管理の総括

(2) 重点施策の主な取り組みについて

施策⑦ 危機管理体制の充実

◆災害対策研修・訓練の実施【取組No.31】

・訓練内容及び実施時期を検討し、引き続き危機管理マニュアル研修や大阪広域水道企業団との研修・訓練を実施しました。

◆応急給水施設の整備・維持管理の推進【取組No.32】

・重要給水施設(第一次避難所)と指定されている市内小・中学校(受水槽工事施設を除く)へ応急給水方法等の確認のため、現地調査を行い台帳を作成しました。

◆災害時に必要な資機材の確保【取組No.33】

・危機管理用品や応急給水施設に設置している発電機の計画的な購入及び更新を実施しました。



2. 令和7年度の進捗管理の総括

(2) 重点施策の主な取り組みについて

施策⑩ 必要な財源確保の推進

◆適切な水道料金の見直し【取組No.39】

- ・令和7年10月より平均約19%の料金改定を実施しました。
- ・令和7年度はひがしおおさか水道ビジョン2030の中間見直しを行い、今後の財政収支見通しを更新しました。

◆保有資産の有効活用(未利用地の使用許可、貸付、売却等)【取組No.41】

- ・令和7年度は土地1件「水走配水場施設拡充用地」について、市長事務部局と有償所管換えを実施しました。

ひがしおおさか水道ビジョン2030
▼中間見直し



2. 令和7年度の進捗管理の総括

(2) 重点施策の主な取り組みについて

施策⑬ 広域連携・官民連携の推進

◆近隣事業体との業務共同化の推進【取組No.54】

・7団体合同での人工衛星を活用した漏水探知で市内全域の調査を実施しました。結果、市内管路が1,044kmある中、約292kmの調査範囲まで漏水の可能性のある箇所を絞り込み、184件の漏水を発見し、修繕しました。(10km当たり6.3箇所の漏水を発見、修繕)

◆民間活力を利用した効率的な運営体制の推進【取組No.56】

・配水管布設替設計業務において、民間活力(コンサル設計委託等)を活用し、効率化を図りました。(令和7年度:4件)



2. 令和7年度の進捗管理の総括

(2) 重点施策の主な取り組みについて



▲水道週間イベントの様子(ろ過実験ブース)

施策⑭ 広報・広聴手法の充実

◆戦略的な情報提供、PRの推進・充実【取組No.57】

- ・水道週間によるPRの実施として、東大阪市民ふれあい祭りのパレードの部に参加や商業施設や駅前広場での啓発イベントを実施しました。
- ・水の日・水の週間に市役所1階にて上下水道一体の展示イベントを実施しました。
- ・市内開催イベントに参加しました。(ECO東大阪)

◆定期的な外部意見広聴の実施【取組No.58】

- ・市の広報部局と連携し、電子申請システムによるアンケートを実施しました。
(回答数:3,376人)
- ・経営審議会を3回開催し、令和6年度の決算状況及び水道ビジョンの進行管理、ひがしおおさか水道ビジョン2030中間見直しについて、審議いただき、意見の聴収を行いました。



2. 令和7年度の進捗管理の総括

(3) 21項目の管理指標(KPI)の実績1

NO.	指標項目	前年度 (R6年実績)	当年度 (R7年実績)	中間目標 (R7)	最終目標 (R12)	優位性
1	水質基準不適合率 (%)	0.0	0.0	0.0	0.0	↓
2	水安全計画の運用・ 改善	運用中	適宜改善	適宜改善	適宜改善	—
3	鉛製給水管率(%)	5.4	4.7	5.5	1.8	↓
4	小規模貯水槽水道点 検率(%)	2.9	7.0	80.0	84.0	↑
5	配水池調査率(%)	81.8	63.6	81.8	100.0	↑
6	管路更新率(%)	0.78	1.01	1.00	1.00	↑

※赤字の数値は中間見直しにおいて、見直された目標数値



2. 令和7年度の進捗管理の総括

(3) 21項目の管理指標(KPI)の実績2

NO.	指標項目	前年度 (R6年実績)	当年度 (R7年実績)	中間目標 (R7)	最終目標 (R12)	優位性
7	有収率(%)	94.6	94.1	95.0	95.0	↑
8	配水池の耐震化率 (%)	52.4	52.4	52.4	52.4	↑
9	管路の耐震管率(%)	19.4	20.4	19.9	25.0	↑
10	基幹管路の耐震適合 率(%)	57.1	60.4	53.2	67.8	↑
11	重要給水施設配水管 路の耐震適合率(%)	40.6	46.0	39.6	56.0	↑
12	料金回収率(%)	95.7	93.5	100.0以上	100.0以上	↑

※赤字の数値は中間見直しにおいて、見直された目標数値



2. 令和7年度の進捗管理の総括

(3) 21項目の管理指標(KPI)の実績3

NO.	指標項目	前年度 (R6年実績)	当年度 (R7年実績)	中間目標 (R7)	最終目標 (R12)	優位性
13	料金収納率(%)	99.2	99.2	維持向上	維持向上	↑
14	給水収益に対する企業債残高の割合(%)	270.8	285.9	350.0以下	500.0以下	↓
15	内部・外部研修時間 (時間/人)	14.3	14.0	13.0以上	16.0以上	↑
16	研究発表会における 発表事例数(回)	4	4	複数回	複数回	↑
17	インターネットによる 情報の提供度(回)	242	272	向上	向上	↑
18	水道に対する満足度 (%)	62.5	65.9	向上	向上	↑

※赤字の数値は中間見直しにおいて、見直された目標数値



2. 令和7年度の進捗管理の総括

(3) 21項目の管理指標(KPI)の実績4

NO.	指標項目	前年度 (R6年実績)	当年度 (R7年実績)	中間目標 (R7)	最終目標 (R12)	優位性
19	配水量1m ³ 当たりの電力消費量(kWh/m ³)	0.14	0.15	維持・低減	維持・低減	↓
20	建設副産物のリサイクル率(%)	100.0	100.0	90.0以上	90.0以上	↑
21	再生可能エネルギー利用率(%)	0.42	0.41	向上	向上	↑



3. 取組の進捗状況と課題への対応

(1) 21項目の管理指標(KPI)による健全経営評価



▲水質検査の様子

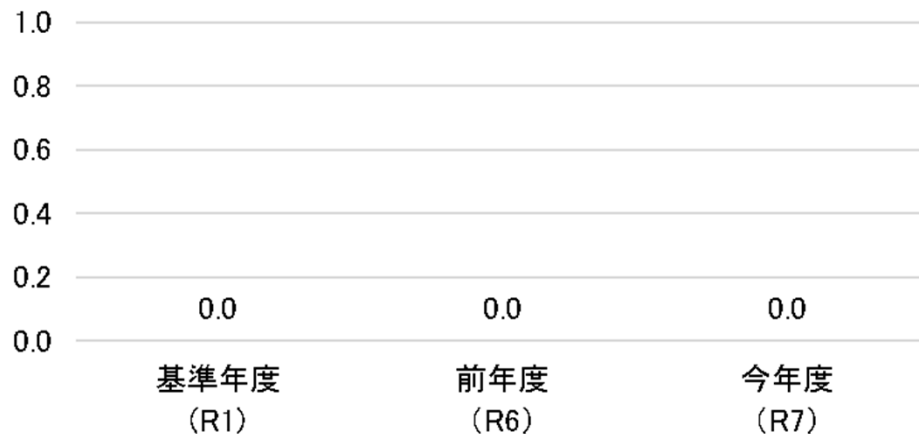
①水質基準不適合率(%)

中間目標(R07):0.0% **達成**
最終目標(R12):0.0%

指標の
優位性



水質基準不適合率(%)



■水質基準不適合率

給水栓での水質基準値に対する不適合割合を示す指標。

◆評価

令和7年度水質検査計画に基づき、計画的に水質検査を実施しました。

令和7年度の水質検査結果は、全て水質基準適合で水道水に異常はありませんでした。



3. 取組の進捗状況と課題への対応

(1) 21項目の管理指標(KPI)による健全経営評価

②水安全計画の運用・改善

中間目標(R07):適宜改善
最終目標(R12):適宜改善

指標の
優位性

—

■水安全計画の運用・改善

水質管理の運用状況に基づく対応措置・方法の改善度合い及び水質基準の改定等の状況変化への対応状況を表す指標。

◆評価

令和7年度末に水安全計画の見直しのための点検(施設更新に伴うデータ等確認)を実施しました。

東大阪市水安全計画
(概要版)



令和5年3月
東大阪市上下水道局



3. 取組の進捗状況と課題への対応

(1) 21項目の管理指標(KPI)による健全経営評価

③鉛製給水管率(%)

中間目標(R07): 5.5% **達成**
最終目標(R12): 1.8%

指標の
優位性



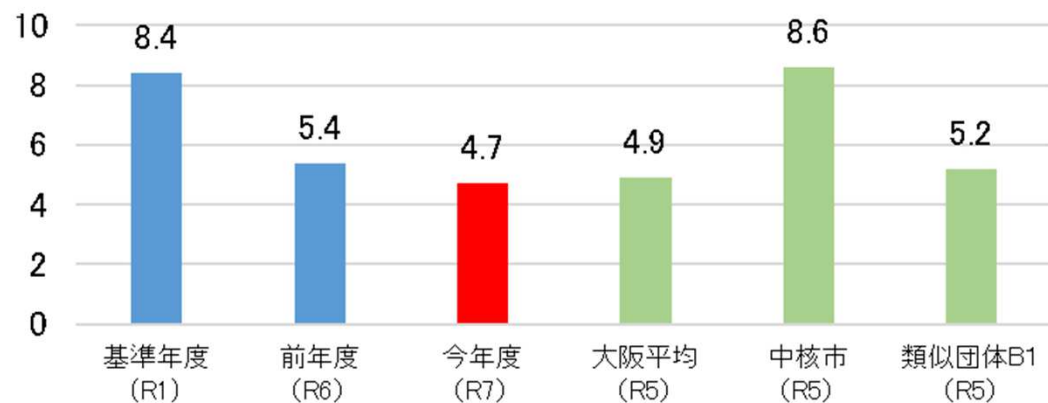
■鉛製給水管率(%)

給水件数に対する鉛製給水管使用件数の割合を示すものであり、鉛製給水管の解消に向けた取組みの進捗度合いを表す指標。

◆評価

鉛製給水管の早期解消を着実に進め、**鉛製給水管率4.7%となり、計画数値を達成できました。**

鉛製給水管率(%)



3. 取組の進捗状況と課題への対応

(1) 21項目の管理指標(KPI)による健全経営評価

④小規模貯水槽水道点検率(%)

中間目標(R07): 80.0% 未達成
最終目標(R12): 84.0%

指標の
優位性



小規模貯水槽水道点検率(%)



■小規模貯水槽水道点検率(%)

5年以内に点検を実施した小規模貯水槽水道の件数の割合を示すもので、水道事業としての貯水槽水道への関与度を表す指標。

◆評価

現地調査(必要に応じて指導・助言)を令和5年度～令和7年度の累計で274件実施しましたが、貯水槽水道設置者からの依頼に基づく点検実施に留まり、点検数が少なかったため、小規模貯水槽水道点検率は7.0%となり計画数値を大きく下回りました。



3. 取組の進捗状況と課題への対応

(1) 21項目の管理指標(KPI)による健全経営評価

⑤配水池調査率(%)

中間目標(R07):81.8% **未達成**
最終目標(R12):100.0%

指標の
優位性



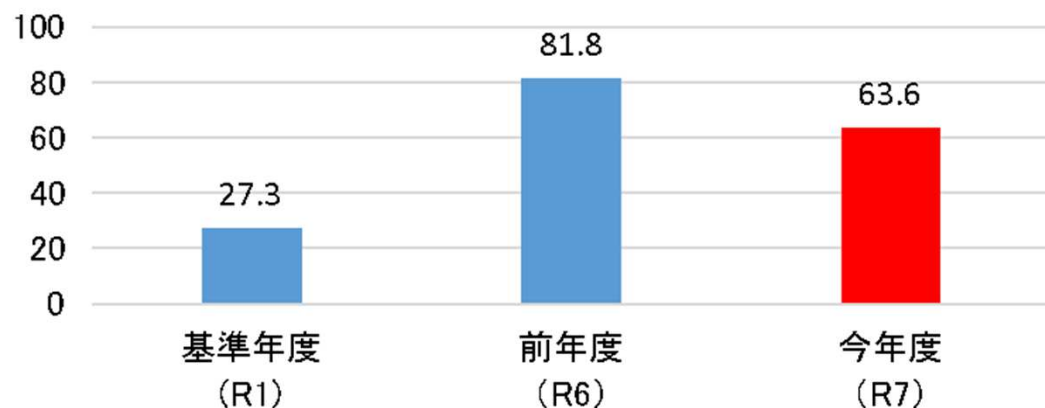
■配水池調査率(%)

躯体コンクリートの劣化状況を調査した配水池の割合を示すものであり、健全性確保に向けた配水池調査の執行度合いを表す指標。

◆評価

池島配水場の工事の遅れにより、予定していた他の配水池の調査が延期となったため、**配水池調査率が63.6%となり、計画値を達成できませんでした。**

配水池調査率(%)



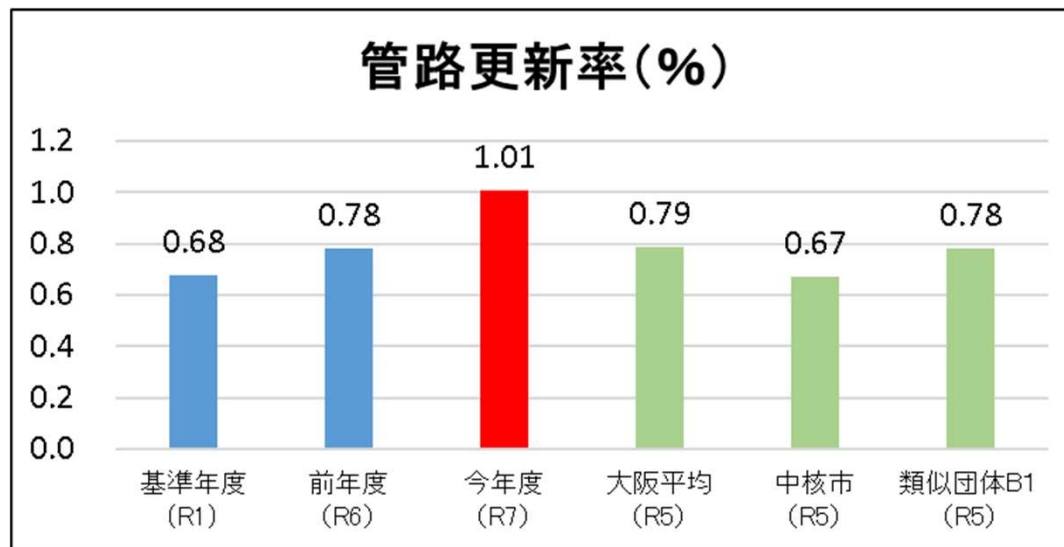
3. 取組の進捗状況と課題への対応

(1) 21項目の管理指標(KPI)による健全経営評価

⑥管路更新率(%)

中間目標(R07): 1.00% **達成**
最終目標(R12): 1.00%

指標の
優位性



■管路更新率(%)

管路の延長に対する更新された管路延長の割合を示すもので、管路更新の執行度合いを表す指標。

◆評価

管路更新延長は、約10.5km(更新率1.01%)となり計画数値を達成しました。

参考: 管路布設延長は約10.9km



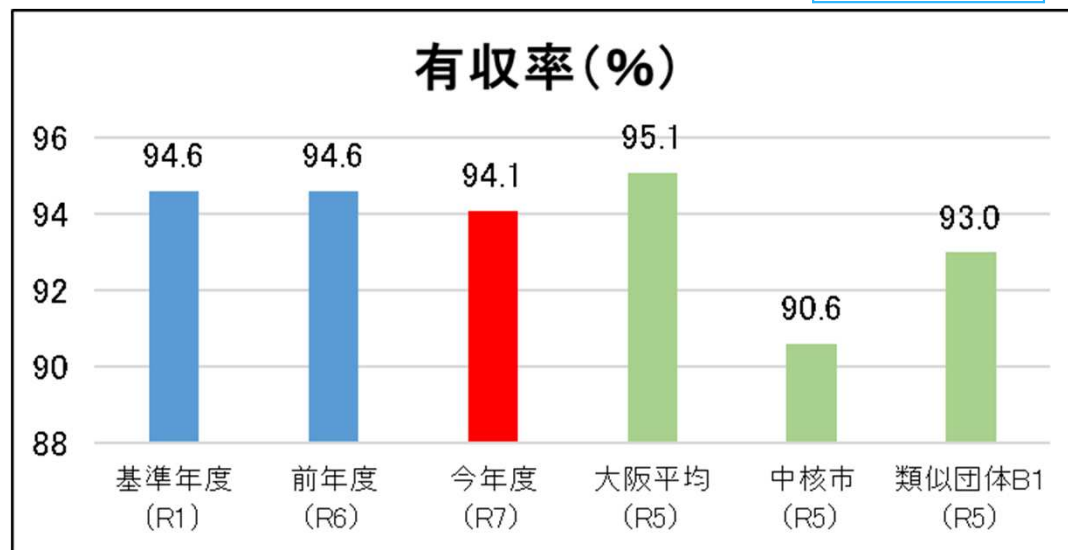
3. 取組の進捗状況と課題への対応

(1) 21項目の管理指標(KPI)による健全経営評価

⑦有収率(%)

中間目標(R07): 95.0% **未達成**
最終目標(R12): 95.0%

指標の
優位性



■有収率(%)

年間配水量に対する有収水量の割合を示すもので、水道施設を通して供給される水量がどの程度収益に繋がっているかを表す指標。

◆評価

人工衛星画像解析技術を活用した漏水調査を実施し、市内管路1,044km中292kmまで調査範囲を絞り込み、184件の漏水を発見し修繕を行い、不明水量の削減に努めました。計画的に調査を実施したものの、有収率としては目標値を下回りました。



3. 取組の進捗状況と課題への対応

(1) 21項目の管理指標(KPI)による健全経営評価

⑧配水池の耐震化率(%)

中間目標(R07): 52.4% **達成**
最終目標(R12): 52.4%

指標の
優位性

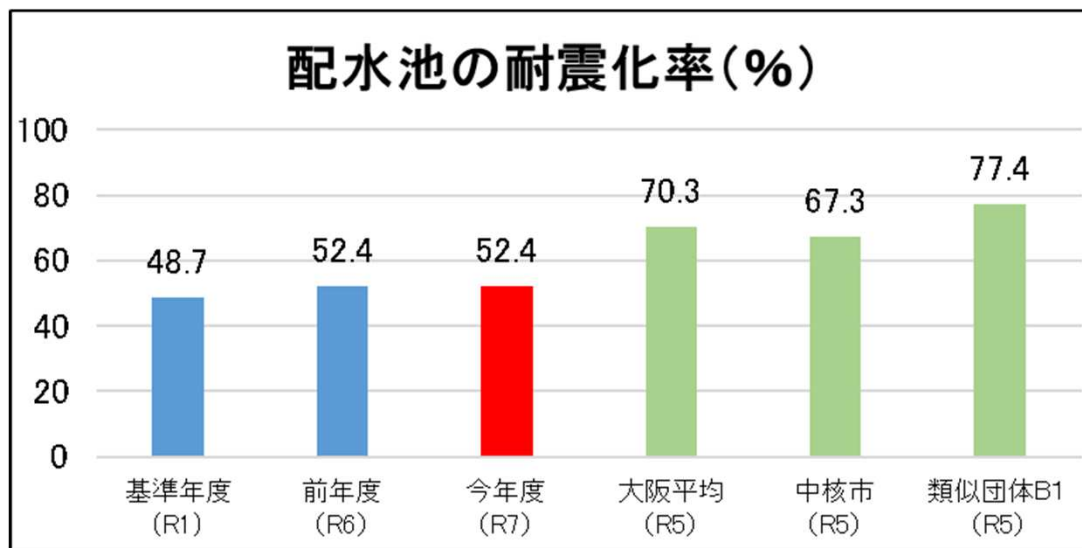


■配水池の耐震化率(%)

全配水池容量に対する耐震対策の施された配水池の容量の割合を示すもので、地震災害に対する配水池の信頼性・安全性を表す指標。

◆評価

配水池は耐震化率が52.4%となり計画数値を達成できました。



3. 取組の進捗状況と課題への対応

(1) 21項目の管理指標(KPI)による健全経営評価

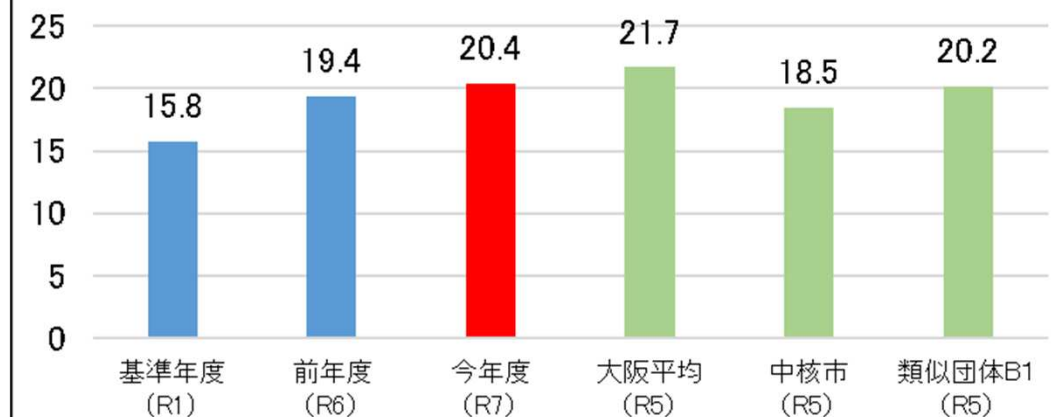
⑨管路の耐震管率(%)

中間目標(R07): 19.9% **達成**
最終目標(R12): 25.0%

指標の
優位性



管路の耐震管率(%)



■管路の耐震管率(%)

全ての管路の延長に対する耐震管延長の割合を示すもので、災害に対する水道管路網の安全性、信頼性を表す指標。

◆評価

老朽管から耐震管への更新が進んだことにより、**管路の耐震化率は、20.4%となり、計画数値を上回ることができました。**



3. 取組の進捗状況と課題への対応

(1) 21項目の管理指標(KPI)による健全経営評価

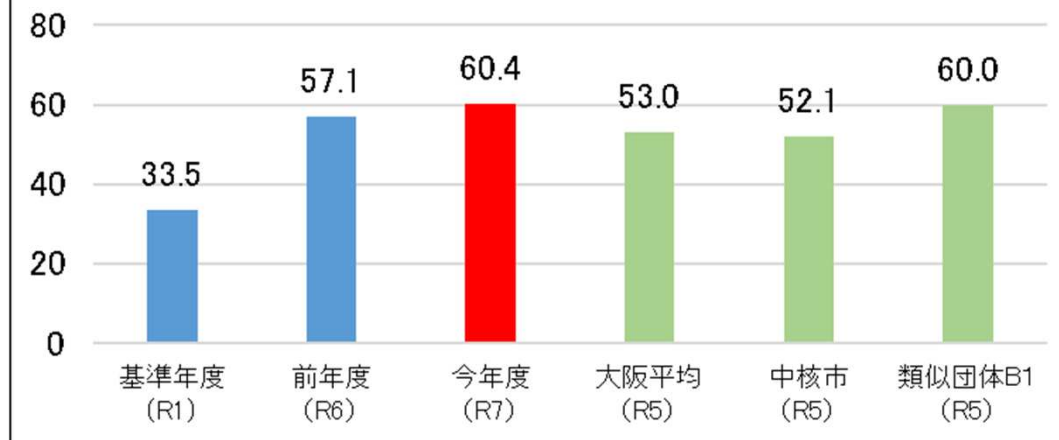
⑩基幹管路の耐震適合率(%)

中間目標(R07): 53.2% **達成**
最終目標(R12): 67.8%

指標の
優位性



基幹管路の耐震適合率(%)



■基幹管路の耐震適合率(%)

基幹管路の延長に対する耐震適合性のある管路延長の割合を示すもので、災害に対する基幹管路の安全性、信頼性を表す指標。

◆評価

優先度の高い基幹管路の耐震化を着実に進め、**基幹管路の耐震適合率は、60.4%となり、計画数値を上回ることができました。**

参考: 基幹管路布設延長は約1.4km



3. 取組の進捗状況と課題への対応

(1) 21項目の管理指標(KPI)による健全経営評価

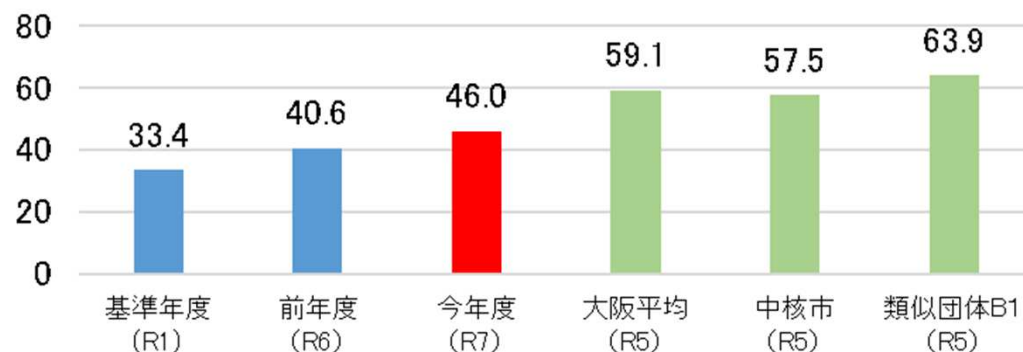
⑪重要給水施設配水管路の耐震適合率(%)

中間目標(R07): 39.6% **達成**
最終目標(R12): 56.0%

指標の
優位性



重要給水施設配水管路の
耐震適合率(%)



■重要給水施設配水管路の耐震適合率(%)

重要給水施設への配水管の延長に対する耐震適合性のある管路延長の割合を示すもので、大規模な地震災害に対する重要給水施設配水管路の安全性、信頼性を表す指標。

◆評価

給水優先度が高い重要給水施設への供給ルート^①の耐震化を着実に進め、**重要給水施設配水管路耐震化率は、46.0%となり、計画数値を上回ることができました。**



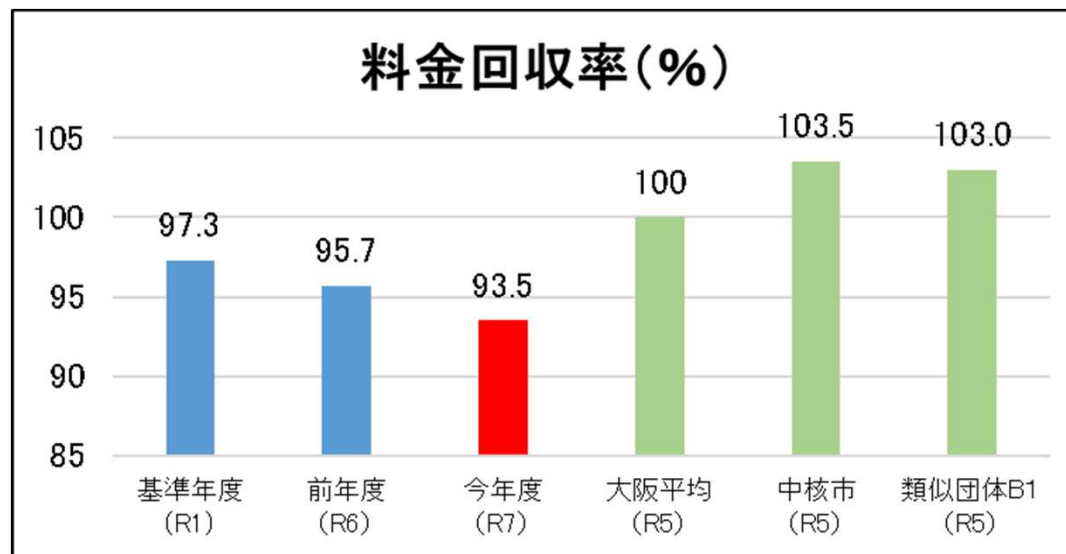
3. 取組の進捗状況と課題への対応

(1) 21項目の管理指標(KPI)による健全経営評価

⑫料金回収率(%)

中間目標(R07): 100.0%以上 **未達成**
最終目標(R12): 100.0%以上

指標の
優位性



■料金回収率(%)

給水原価に対する供給単価の割合を示すもので、水道事業の経営状況の健全性を表す指標。

◆評価

令和7年度は、**10月から料金改定を実施**しましたが、物価高騰対策として、水道料金の減免を実施したことや維持管理費、人件費が増加したため、料金回収率は依然として100%を下回っています。ただし、料金改定の影響を平年度化した場合、指標の上昇が見込まれます。



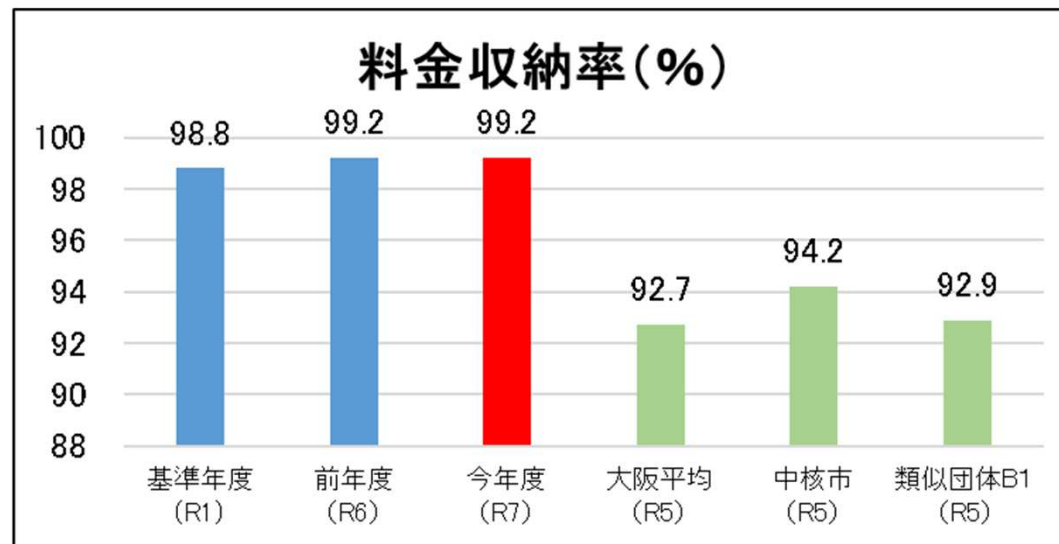
3. 取組の進捗状況と課題への対応

(1) 21項目の管理指標(KPI)による健全経営評価

⑬料金収納率(%)

中間目標(R07):維持・向上 **達成**
最終目標(R12):維持・向上

指標の
優位性



■料金収納率(%)

1年間の水道料金総調定額に対して、決算確定時点において納入されている収入額の割合を示すもので、水道事業の経営状況の健全性を表す指標。

◆評価

閉栓未収対応及び高額滞納者対応等、未納対策の強化とともに滞納が長期化しない取組として調定から給水停止までの期間を短縮することで、収納率向上に取り組み、**昨年度の料金収納率を維持しました。**



3. 取組の進捗状況と課題への対応

(1) 21項目の管理指標(KPI)による健全経営評価

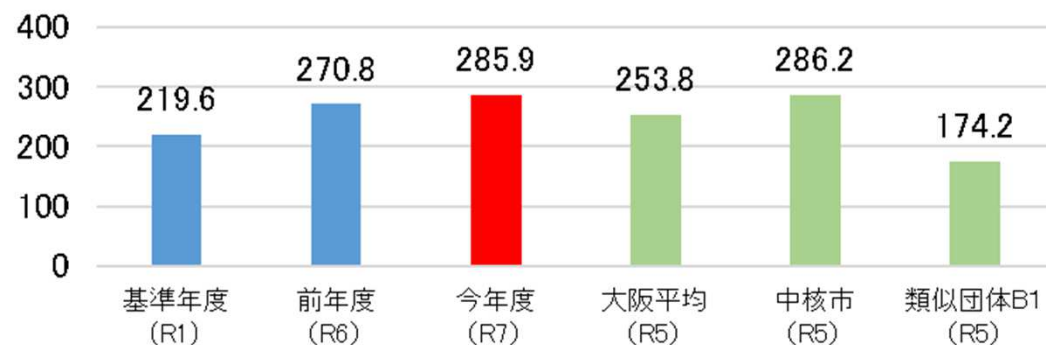
⑭給水収益に対する企業債残高の割合(%)

中間目標(R07): 350.0%以下 **達成**
最終目標(R12): 500.0%以下

指標の
優位性



給水収益に対する企業債残高の
割合(%)



■給水収益に対する企業債残高の割合(%)
給水収益に対する企業債残高の割合を示すもので、企業債残高が規模及び経営に及ぼす影響を表す指標。

◆評価

給水収益に対する企業債残高の割合は**計画数値を下回ることができました。**



3. 取組の進捗状況と課題への対応

(1) 21項目の管理指標(KPI)による健全経営評価

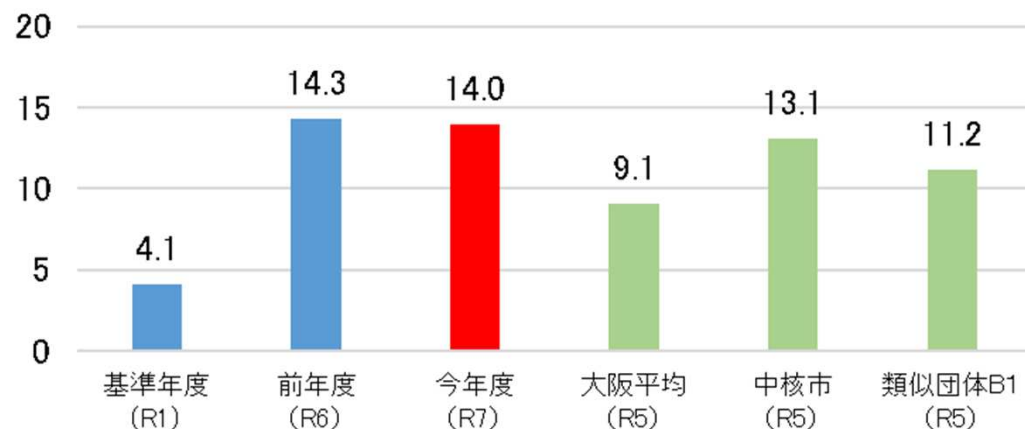
⑮内部・外部研修時間(時間/人)

中間目標(R07): 13.0以上 **達成**
最終目標(R12): 16.0以上

指標の
優位性



内部・外部研修時間(時間/人)



■内部・外部研修時間(時間/人)

職員一人当たりの内部・外部研修の受講時間を表すもので、技術継承及び技術向上への取組状況を表す指標。

◆評価

昨年度に引き続き、**一人当たりの研修時間は目標値を上回る事ができました。**



3. 取組の進捗状況と課題への対応

(1) 21項目の管理指標(KPI)による健全経営評価

⑩研究発表会における発表事例数(回)

中間目標(R07):複数回 **達成**
最終目標(R12):複数回

指標の
優位性



研究発表会における
発表事例数(回)



■研究発表会における発表事例数(回)

日本水道協会等の研究発表会における発表事例数を示すもので、技術継承及び技術向上への取組状況を表す指標。

◆評価

日本水道協会全国会議で2件、日本水道協会関西支部にて2件発表したことで、**発表事例数の目標である複数回を達成できました。**

参考:研究発表テーマ

- ・ 東大阪市における水道事業DX化の取組－人工衛星画像解析に基づく漏水調査の実績－
- ・ 応急給水の簡易化への模索



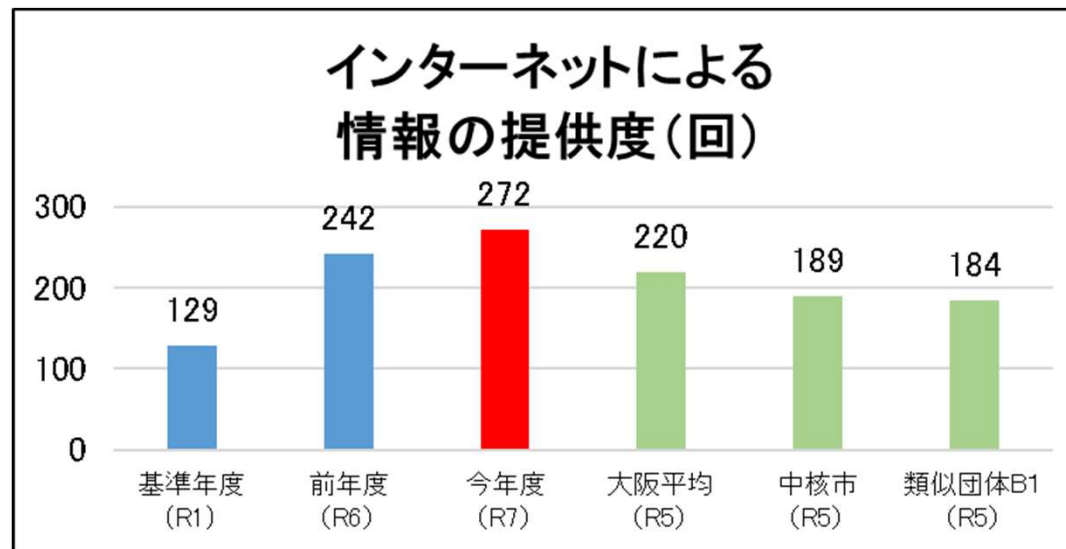
3. 取組の進捗状況と課題への対応

(1) 21項目の管理指標(KPI)による健全経営評価

⑰インターネットによる情報の提供度(回)

中間目標(R07): 向上 **達成**
最終目標(R12): 向上

指標の
優位性



■インターネットによる情報の提供度(回)

水道事業の情報発信回数を表すもので、お客様への事業内容の公開度合いを表す指標。

◆評価

市公式SNS(X、Facebook、LINE)を活用した広報を実施することで、SNSからも市ウェブサイトへアクセスできるよう努めました。積極的な発信を継続することで、**昨年度を上回る情報提供を行うことが出来ました。**



3. 取組の進捗状況と課題への対応

(1) 21項目の管理指標(KPI)による健全経営評価

⑮水道に対する満足度(%)

中間目標(R07): 向上 **達成**
最終目標(R12): 向上

指標の
優位性



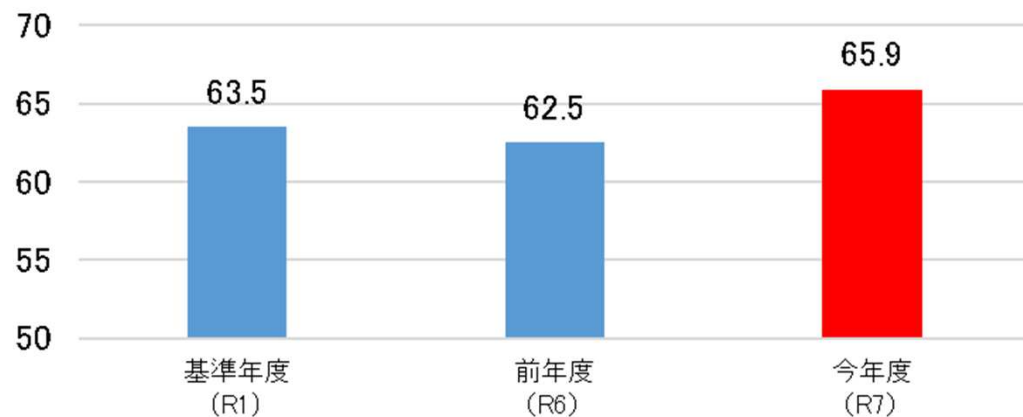
■ 水道に対する満足度(%)

アンケートで水道に「満足」等と回答した人数割合を示すもので、お客さまの満足度を表す指標。

◆ 評価

市の広報部局と連携し、電子申請を用いたアンケートを実施しました。(3, 376人の回答)

水道に対する満足度(%)



3. 取組の進捗状況と課題への対応

(1) 21項目の管理指標(KPI)による健全経営評価

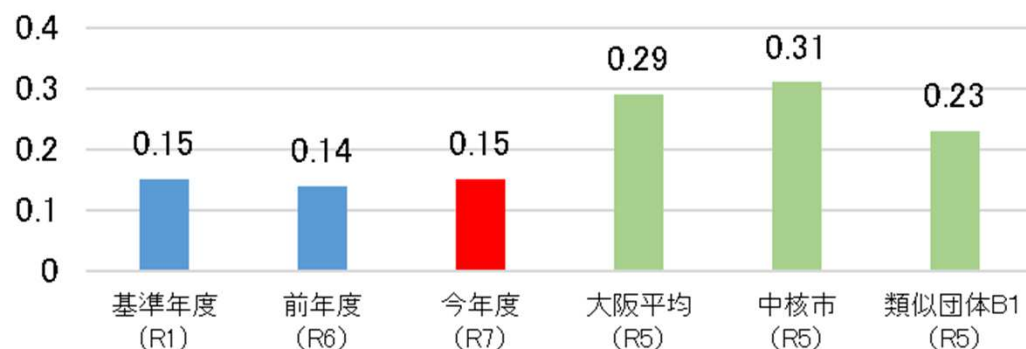
⑬配水量1 m³当たりの電力消費量(kWh/m³)

中間目標(R07):維持・低減 **達成**
最終目標(R12):維持・低減

指標の
優位性



配水量1 m³当たりの電力消費量
(kWh/m³)



■配水量1 m³当たりの電力消費量(kWh/m³)
配水量1 m³当たりの電力消費量を示すもので、省エネルギー対策への取り組み度合いを表す指標。

◆評価

受水圧・位置エネルギーの活用を継続することにより、配水量1 m³当たりの電力消費量は **0.15kWh/m³となり維持することができました。**



3. 取組の進捗状況と課題への対応

(1) 21項目の管理指標(KPI)による健全経営評価

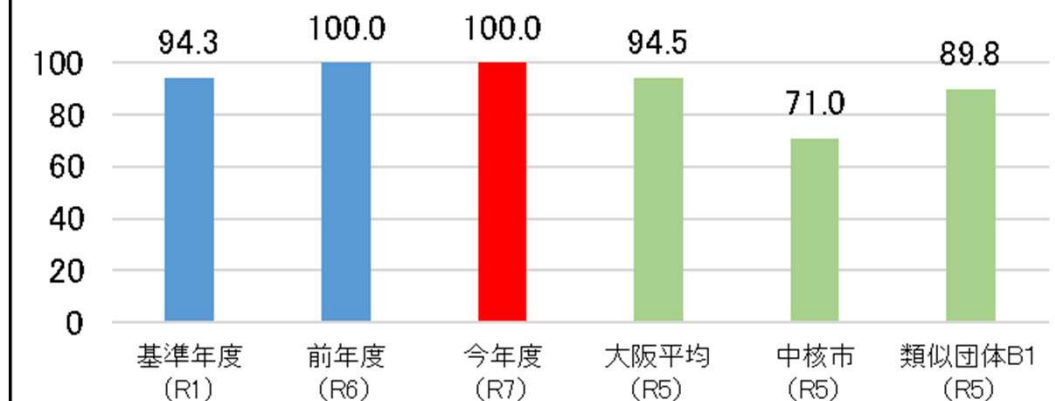
②建設副産物のリサイクル率(%)

中間目標(R07): 90.0%以上 **達成**
最終目標(R12): 90.0%以上

指標の
優位性



建設副産物のリサイクル率(%)



■建設副産物のリサイクル率(%)

水道事業における工事などで発生する建設副産物のうち、再資源化(再使用・再生利用)された建設副産物の割合を示すもので、環境保全への取り組み度合いを表す指標。

◆評価

建設副産物の有効利用を積極的に進め、**建設副産物のリサイクル率は、100%となり、計画数値を上回ることができました。**



3. 取組の進捗状況と課題への対応

(1) 21項目の管理指標(KPI)による健全経営評価

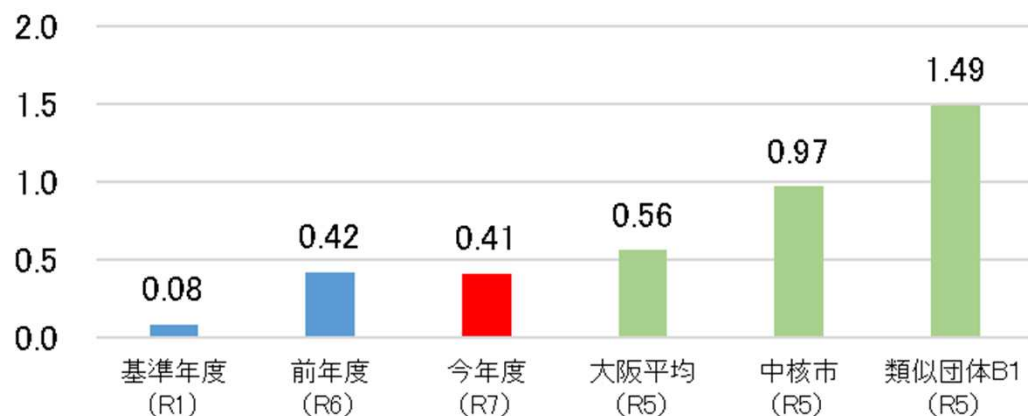
②再生可能エネルギー利用率(%)

中間目標(R07): 向上 **達成**
最終目標(R12): 向上

指標の
優位性



再生可能エネルギー利用率(%)



■再生可能エネルギー利用率(%)

全施設の電力消費量に対する再生可能エネルギーの利用の割合を示すもので、環境負荷低減に対する取り組み度合いを表す指標。

◆評価

再生可能エネルギー利用率は、前年度並みになり**目標は達成**していますが、他市に比べて低いので、今後の対策等は整理していく必要があります。



3. 取組の進捗状況と課題への対応

(2) 進捗が遅れている取組の課題と今後の対応について

施策② 鉛製給水管解消の推進

鉛製給水管解消に向けた新たな制度の検討・実施 (取組No.9)

◆主な課題◆

【助成等の制度導入の検討】

- ・他市の導入事例や他事業の助成金制度をもとに検討を行いましたが、導入による事務量の増加に対する効果や実績が得られにくいなどの課題があることがわかりました。
- ・R3～R7の5年間の検討において、助成等制度の実施は局主導によるメーター1次側の鉛製給水管の解消を優先することとし、助成制度については検討保留としております。

●今後の対応●

引き続き、局主導によるメーター1次側の鉛製給水管の解消に注力しつつ、他市導入事例等も参考にしながら、継続的な調査・検討を行います。



3. 取組の進捗状況と課題への対応

(2) 進捗が遅れている取組の課題と今後の対応について

施策③ 貯水槽水道への指導・助言強化と直結給水の推奨

貯水槽調査における管理状況等の情報提供(取組No.11)

◆主な課題◆

【小規模貯水槽の現地把握と点検】

貯水槽水道設置者からの依頼に基づく点検実施に留まり、点検数が計画値を大きく下回っています。

●今後の対応●

計画値を大きく下回ることから、ひがしおおさか水道ビジョン2030中間見直しにおいて、目標設定の考え方や点検手法を大きく見直しました。

小規模貯水槽の外観調査と使用水量の調査を行う一次調査を行った後、一次調査で不適正となったものに対して、現地調査を行う二次調査を実施することで計画的な点検、調査を推進していきます。



3. 取組の進捗状況と課題への対応

(2) 進捗が遅れている取組の課題と今後の対応について

施策⑤水道施設の適切な更新・維持管理の推進

計画的な配水池の更新・保全(取組No.19)

◆主な課題◆

【配水池調査率】

池島配水場の工事が遅れたことにより、他の水道施設の業務や調査に影響がおよび、予定していた菱屋西配水場や上四条高区配水池の調査・点検が実施できなかった。

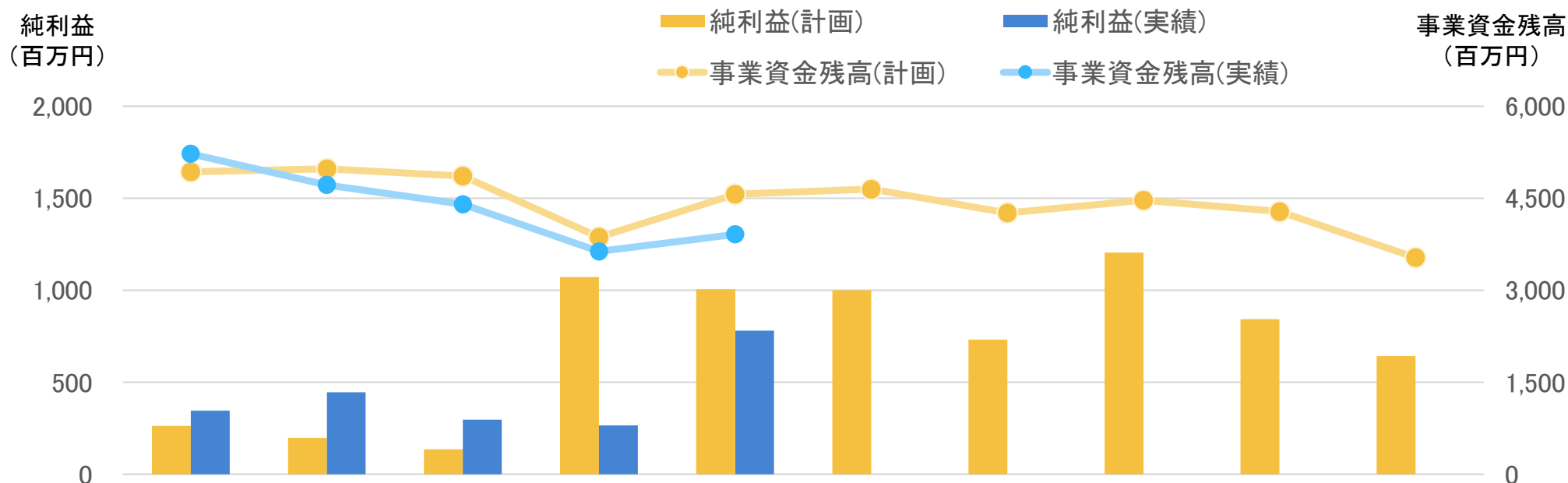
●今後の対応●

今後は調査を予定していた菱屋西配水場及び上四条高区配水池の調査・点検を行い、目標値を達成できるよう計画的な調査・点検に取り組んでいきます。



4. 水道ビジョンに基づく財政状況のフォローアップ

《 事業資金残高と純利益の実績と推移予測 》



	R3	R4	R5	R6	R7	R8	R9	R10	R11	R12
事業資金残高(計画)	4,931	4,980	4,863	3,866	4,565	4,648	4,261	4,468	4,282	3,534
事業資金残高(実績)	5,224	4,716	4,402	3,633	3,911	計画値はビジョン中間見直しにて修正(仮で令和10年4月8%の料金改定で試算)				
純利益(計画)	262	198	135	1,072	1,005	1,000	732	1,205	843	642
純利益(実績)	345	445	297	265	780					



4. 水道ビジョンに基づく財政状況のフォローアップ

1. 現状における財政状況

- 令和7年10月から平均約19%の料金改定を実施したことにより、
純利益の黒字を確保し、資金残高は給水収益の概ね6カ月分を確保しました。
- 令和6年12月の市議会において、平均約19%と8%の2段階での料金改定を提案し、19%は可決をいただきましたが残り8%については国の補助金拡充の動向や市民負担を考慮し、先送りとなっており、今後の財政運営には課題となっています。
- 令和6年度の料金改定検討時に比べ、物価、賃金、金利の上昇が顕著であるため、仮に令和10年4月に8%の料金改定を行うと仮定した場合でも財政目標を下回る可能性があります。
- 引き続き、料金水準の見直しや企業債残高の適正な管理、国費の積極的な活用を行い、健全な経営を持続できるよう努めます。

